

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



会長挨拶

三条南ロータリークラブ会長

佐々木常行

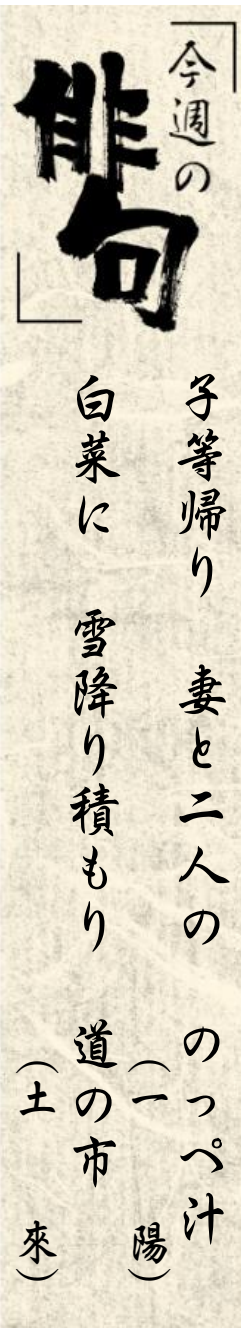
三条クラブより斎藤弘文様、米山奨学生 ホセ君、ようこそおいで下さいました。最後までごゆっくりとお過ごし下さい。



最初に、米山記念奨学会より「第24回米山功労クラブ」としての感謝状が贈られましたことご報告申し上げます。皆様のご協力に改めまして感謝申し上げます。

皆さん、『コンシェルジュ』という言葉をご存知でしょうか。もともとはフランス語で建物の門番を意味し、19世紀に入ってからホテルの鍵管理係を示す言葉として使われていました。その後、ホテルの宿泊客のあらゆる要望に対応する「総合お世話係」というような意味合いで現在では使われています。コンシェルジュは、宿泊客のどんなリクエストに対しても決してノーと言わないことをモットーとしています。

コンシェルジュの組織であるレ・クレドールはフランスで1929年に設立され、世界中に会員を有しています。2005年に発足した日本コンシェルジュ協会により、コンシェルジュになるための資格試験はありませんが、ホテルの様々な部署を経験し、広い人脈を持っていることが望ましいとされています。それと同時に、ホテル業務に精通し、語学力や接客で高いスキルを身につけておくことが必要不可欠とされています。現在、同協会には80



出席率

会員52名中40名

先々週の出席率

90.00% (1/19)

ビジター

三条RCより 斎藤弘文君

米山奨学生 レジェス メンデス ホセ ルイス 君

先々週のメイクアップ

1/27 三条北RCへ 池田 稔君 内藤豊大君 野島廣一郎君

坪井正康君 吉井正孝君

1/28 三条RCへ 船久保孝志君 平松修之君 野島廣一郎君

1/29 燕RCへ 加藤峰孝君 木村 譲君 野崎正明君

1/29 三条東RCへ 吉井正孝君

四つのテスト

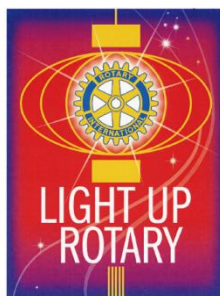
一言行はこれに照らしてから

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



ロータリーに
輝きを

国際ロータリー会長
第2560地区ガバナー
第4分区ガバナー補佐

会長
幹事
S A A

事務局

ゲイリー C. K. ホアン [台湾]

佐々木 昌敏 [小千谷]

菊池 渉 [三条]

佐々木 常行

松崎 孝史

馬場 眞樹

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

名のコンシェルジュが所属し、うち 6 割強が女性であります。気配りが上手な女性が活躍しやすい職種と言えるかもしれません。

このおもてなしの達人は、最近、百貨店でも採用されています。高いスキルを持つコンシェルジュの需要は業種を超えて、今後ますます増えてゆきそうな気がします。

新会員紹介

大林 培男（おおばやし ますお） 君

＜生年月日＞ 1968（昭和 43）年 1 月 28 日

＜勤務先＞ （株）JTB 関東 法人営業三条支店 支店長
〒955-0065 三条市旭町 2-2-25
TEL 35-7222 FAX 35-3915
Eメール m_obayashi738@kanto.jtb.jp

＜自 宅＞ 〒955-0082 三条市西裏館 3-2-19 C203
TEL 090-8597-7791

＜趣 味＞ ゴルフ、旅行



- ✦ 埼玉県大宮生まれ、茨城育ち、新潟は初めてです。
新潟を楽しみながら皆様と親睦を深めさせていただければと思います。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

幹事報告

松 崎 孝 史 幹事

佐々木ガバナー事務所より

①「2 月ロータリーレート」のご案内 2 月 1 日より 1 ドル＝118 円（現行と変わらず）

②「第 2 回 入会 1～3 年会員研修」開催のご案内

＜日 時＞ 2015 年 3 月 15 日（日） 13:00～17:30

＜会 場＞ ホテルニューオータニ長岡

③ 2017～18 年度ガバナーノミニー候補者推薦について

各クラブにて検討のうえ、ガバナーノミニー候補者適任者を 2015 年 3 月 10 日（火）までに推薦願います

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 2 月 2 日 17,000 円
今年度累計 467,000 円 ～

三条 RC
斎藤 君

三条商工会議所「会員新春の集い」には大勢の会員の皆様にご出席賜り本当にありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。

佐々木 君

田口信行さんの卓話、楽しみにしております。

松 崎 君

大林さん、ようこそ三条南クラブへ！田口さん、本日の卓話 よろしく願います。

大 林 君

本日から改めまして、よろしくお願い致します。

佐藤（秀）君 JTB大林会員を歓迎して！

草 野 君 田口さん、卓話楽しみにしています。

星 野 君 田口さん、卓話ご苦労様です。

大湊君、加藤君、佐藤（嘉）君、滝口君、田中君、銅冶君、西巻君

BOXに協力いたします。

齋藤 君 BOX、ご協力ありがとうございました。

「調剤薬局に勤務して」

田口 信行 会員



こんにちは。親睦委員の田口です。
今日は卓話の順番が回ってきましたので、少しお話させていただきます。

卓話の内容としては、私自身が薬剤師として、20年以上現場で勤務してまいりましたので、「調剤薬局に勤務して」と題して、薬剤師の歴史と、実際現場で経験しました患者さんの勘違いについてお話しさせていただきます。

私の勤務します「株式会社 共栄堂」は、新潟市秋葉区（旧新津市）に本社を構えます。

昭和23年6月に創業し、平成27年1月現在 新潟県内75店舗 山形県6店舗 計81店舗、従業員数397名（内 薬剤師数208名）、平成26年3月期の売上は113億円 の会社です。

現在は一般的になりました院外処方箋の調剤を昭和39年より始めていた大変珍しい会社です。

私は平成5年に入社しましたが、院外処方が政策誘導で進められ、右肩上がりに薬局が増えていった時期とかになります。

さて、初めに、薬剤師の歴史についてです。

世界的に薬剤師の歴史は、1240年、ドイツ人でシチリア島の皇帝フリードリッヒ2世が定めた五箇条の法令に始まるといわれています。これは、「死亡診断書を書く立場にある医師は、薬を直接与えることは出来ない」としています。

当時、国は安定しておらず、皇帝は毒薬による暗殺を恐れ、それを阻止するために医師と薬剤師を互いに監視させ、自分の命を守ろうとしたものと言われています。その後もこの考え方は受け継がれ、ヨーロッパ各国やアメリカでは医薬分業が制度として定着しました。薬局としてはそれ以前にローマで開設されたとされていますが、この医薬分業が薬剤師の起源とされています。

一方、日本においてですが、明治維新後、日本の医学はドイツに学んで、その仕組み（医学校）が整えられてきました。ドイツ人のミュルレルとホフマンは日本政府の招きで来日し、医師制度の確立をめざし「日本の医業の隆盛のためには、薬学の研究も併せて行い、医学と薬学を平行して行わなければならない」と示し、日本における医薬分業思想の原点となりました。この考えのもと、1874年（明治7年）に「医制」という法律が制定され、「医師は自ら薬をひさぐ（売る）ことを禁ず」とし、薬舗主（後の薬剤師）に調剤権を付与し、医薬分業が本来のかたちとして規定されました。

1889年（明治22年）「薬律」という薬剤師、薬局の定義など薬事制度の総合的な法律が規定されました。しかし、この法律には「附則」がついており、例外的に院内処方を認めています。日本では明治以前、医師は薬師（くすし）と言われ、診察と薬の調合を兼ねてきた歴史があります。人々は医師から薬をもらうことに価値を見出し、医師が薬代として報酬を得てきた背景があるため、薬剤師は調剤を専権事項にすることができず現在に至っています。

第2次世界大戦後、医薬分業実施の転機となりうる機会がありました。それは、マッカーサーの招きでアメリカ薬剤師協会使節団が来日したことです。これは戦後の新しい社会の構築に合わせて医薬分業を実現したい薬剤師会の働きかけで実現したものです。使節団は日本の検討課題として医薬分業の早急な実現を盛り込んだ勧告書を日本政府に提出しました。これによって薬剤師側の医薬分業の機運は盛り上がり、1951年医薬分業法案が国会に提出されたものの医師会の猛反対にあい、結局1955年に医師の調剤権を認めた「医薬分業法の一部改正」（いわゆる「分業法」）が公布されました。分業がスタートしたようにも見えますが、実際には医師の調剤権を例外的に認めていますので、医薬分業はほとんど実施されないままでした。

1961年（昭和36年）国民皆保険制度が始まり、医療財源はこの保険制度によって賄われることになりました。この頃から新しい作用機序の薬剤が少しずつ開発され始め、使われる薬剤の種類も増え始めました。

日本では、医療機関の経営を支える重要な収入源のひとつとして『薬価差益』があります。薬価差益とは、薬剤が実際に納入される価格と保険診療で請求できる薬価との差のことです。

これまで差益が大きい時代があり、医師が薬を出せば出すほど収入が増えることを問題視する風潮が強まったこともあり、大幅な薬価引き下げと共に院外処方箋の発行を、国の政策で推し進められました。

具体的には、院外処方せん料の発行を増やすために院外処方せん料の引き上げが実施され、それまで6点（60

円)だった院外処方せん料が、いっきに8倍以上の50点(500円)に引き上げられたのが1974年で、諸説ありますが、この1974年(昭和49年)を医薬分業元年としています。

ただ、実際には1990年頃より急激に増え始め、87年に10%、95年に20%、98年に30%、00年に40%を超え、03年8月には50.2%、13年には70%を超えるに至り、現在になっております。

以上が世界、日本の薬剤師、医薬分業の大雑把な歴史になります。

次に、現場で患者さんとお話をしていると、僅かですが患者さんが勘違いをされて薬を服用、使用していたなどと同じことがありますので、その中から経験しました事例を幾つかご紹介させていただきます。

*漢方薬を食中に服用していた

漢方薬の服用に食間という方法があります。薬をお渡しする時に食間とはいつですか?と質問を受けることがあるのですが、やはり食の間という文字より、食事を摂り始めてから一旦食事を中断し、薬を服用後また食事を再開していた、いわゆる食中に服用していたという患者さんがいらっしゃいました。

漢方薬は空腹時の方が、吸収が良いとされているため食前、食間とする服用方法が一般的になります。ただ、食後であっても吸収がゼロとなることはないし、忘れる率が少ないのは食後なので、あえて食後の指示を書かれるDrもいらっしゃいます。

食前、食後、食間何れの服用でも良いのですが、処方箋に食間と指示のある場合、食事が終わって2時間後、または、10時、3時、寝る少し前と表現を変えて患者さんに理解されやすいようにお話をしています。

*坐剤を服用してしまった

この業界に入り、先輩薬剤師さんから「坐剤を座って飲んだ方がいるので説明をしっかりとるように」と指導を受け、ホントかなと聞いていましたが、坐剤に関しては色々勘違いの話を聞くことが多い薬になります。

私が経験した中に、座って飲んではいませんでした。お尻から入れずに「間違えて飲んでしまった。美味しくなかった」と聞かされた事がありました。私自身、坐薬を服用したことがないので味についてはわからないのですが、やっぱり不味いだろうなと思いながら聞いていました。

他に坐薬が「使いづらかった、どうすればいい」と聞かれましたので、使用方法を確認すると、坐薬の包装を形通りにハサミで切って取り出そうとしていたようです。その方法だと確かに取り出しにくくなりますね。そこで再度説明書、現物を用いて取り出し方、使用方法について説明しました。

別に、肛門との言葉を使いたくない為か「お尻に入れてくださいね」と説明した所、「お汁に入れてくださいね」と聞こえ、味噌汁などに入れた等の例もあるようです。

*徐放製剤の薬を粉砕して服用していた

薬には苦みを抑えるためコーティングを施してあるもの、服用回数を減らすために製剤加工を施してあるもの、胃腸障害があるため、腸で溶けるように加工を施しているものなど様々あります。

徐放製剤といいまして、効果が持続するように錠剤を加工し、1日1回、または1日2回の服用で1日効果が持続するように作られている薬があります。その薬は加工したため錠剤の大きさが大きくなっているのが難点のくすりでした。

「大きい薬ですが飲めていますか?」と問いかけると、大きさが気になって飲み込めなかったのだと思いますが、「包丁でカットして飲んでいます」と答えられました。もちろん理由を説明し、止めていただくように話をしました。

加工されている錠剤を砕いたりすると溶け方、吸収の速度も変化し、効果の発現が急激に起こることが考えられます。幸い体調に変化はありませんでしたが、薬をご自分で加工する場合は、事前に薬剤師に問い合わせをし、問題ない薬か確認をされることをお勧めします。

*解熱鎮痛消炎剤を胃薬代わりに服用していた

患者さんにその時処方された薬の効果、服用方法を説明している時に、「定期的に服用している薬はないが、頭痛時、腹痛時に薬を飲むことがあります」とお話を伺いました。「市販薬ですか?」と聞き返すと、「以前受診した時の痛み止めです」とのことでした。さらに聞いていくと、解熱鎮痛消炎剤を、頭痛時だけでなく、お腹が痛いときにも自己判断で服用していたという事がわかりました。

解熱鎮痛消炎剤の場合、痛みを増強する物質を抑えることにより痛みを軽減しますが、痛みを増強する物質は胃を保護する物質の一つでもあります。結果、胃を保護する物質を少なくしてしまうため通常、解熱鎮痛消炎剤は「胃に少し負担をかけることがありますよ、胃痛があれば中止してくださいね」と声をかけ注意を喚起します。

腹痛は痛みという言葉には変わらないのですが、頭痛薬を服用することで腹痛を悪化させる場合がありますし、原因がどこからきているかわからないので「痛み止めは服用せず受診をされた方が良いですよ」と説明しました。

*内服の倍量服用と貼付剤の頻回張替えをしていた

患者さんが、まだまだ薬が残っているはずなのに、もう無くなったと早く薬を貰いに来られた方がいらっしゃいました。

良く話を聞くと、患者さんは早く良くなりたい一心で、倍服用すれば倍効果があると勘違いをして服用していたとのことでした。倍量服用した場合効果のみアップしてくればよいのですが、副作用のリスクもアップしてしまいます。決められた量での服用は基本で、自己判断は危険ですと説明しました。

シップ薬も 1 日のうちに何度も張り替える方がいらっしゃいます。
シップ薬は通常 1 日 1 回と 2 回張り替えのタイプがあります。1 日のうちに何度張り替えても吸収量は変わりませんので、効果が倍になることはありません。ただ、使用した時の使用感から気持ちよさ、満足感がありますので、患者さんには「かぶれに注意して回数を守って使ってください」とお話ししました。

まだまだ沢山の例がありますが、これくらいにしたいと思います。

先日、インターネットを見ていますと、厚労省白書に医薬分業の利点として書かれていた内容がありました。そこに

- 1) 使用したい医薬品が手元に無くても、患者に必要な医薬品を医師・歯科医師が自由に処方できること。
- 2) 処方せんを患者に交付することにより、患者自身が服用している薬について知ることができること。
- 3) 「かかりつけ薬局」において薬歴管理を行うことにより、複数診療科受診による重複投薬、相互作用の有無の確認などができ、薬物療法の有効性・安全性が向上すること。
- 4) 病院薬剤師の外来調剤業務が軽減することにより、本来病院薬剤師が行うべき入院患者に対する病棟活動が可能となること。
- 5) 薬の効果、副作用、用法などについて薬剤師が、処方した医師・歯科医師と連携して、患者に説明（服薬指導）することにより、患者の薬に対する理解が深まり、調剤された薬を用法どおり服用することが期待でき、薬物療法の有効性、安全性が向上すること。

と書いてあります。

先程お話しさせていただいた事例も、笑い話で済む場合もありますが、事故・副作用につながりかねないケースも含まれていますし、患者さんによってはかなり無茶をされる方もいらっしゃいます。

薬は前から読むと「くすり」ですが、逆に読むと「リスク」になります。これからも薬局薬剤師という職業を通して、この利点を皆様に認知していただき、患者さんのリスクを少しでも軽減できるように努力したいと考えております。

ご清聴ありがとうございました

Rotary News Watch

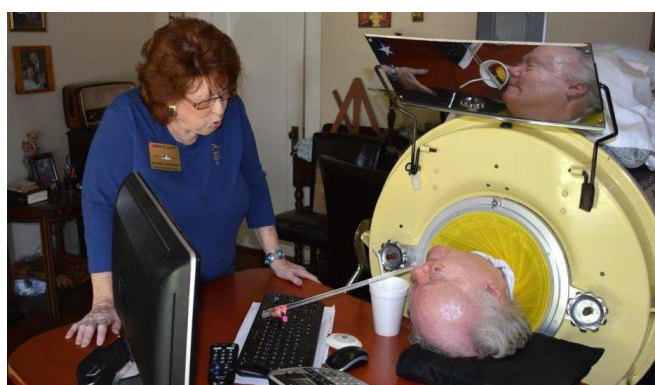


Rotary News

15-Jan-2015

鉄の肺とともに生きる男性、 ロータリーと出会う

長年、ポリオ撲滅を目指して懸命な努力を重ねてきたロータリー。「鉄の肺」*とともに生きる人ならロータリーのこの活動を知っていると誰もが考えるかもしれませんが。しかし、鉄の肺の中で生きるポール・アレキサンダーさんは、今年初めにあるロータリー会員と出会うまで、自分の体をほぼ完全にまひさせたこの病気の撲滅にロータリーが取り組んでいることを知りませんでした。（*「鉄の肺」：頭部を除いて体全体を金属製の気密タンクですっぽりと包み、一定の間隔で空圧を変えることで肺呼吸を助ける装置。重さ 350 キログラム以上であり、1960 年代初めにポリオワクチンが普及して以来、利用者は激減している。）



ポール・アレキサンダーさんの自宅を訪れたEクラブ会員、リンダ・エリオットさん。アレキサンダーさんは、現在も「鉄の肺」を使う数少ない患者の一人です。

写真提供：Linda Elliott（第 5810 地区Eクラブ会員）

「ロータリーのポリオ撲滅の取り組みについて聞き、本当に驚きました。これまで長年、まったくそのことを知らなかったんです」とアレキサンダーさん。「自分も何か役に立てると考えました」

現在、テキサス州ダラスで弁護士として働くアレキサンダーさんは、アメリカでポリオが流行した 1950 年代後半に、6 歳でポリオに感染。呼吸不全に陥って病院に運び込まれた彼を、医師はすぐさま鉄の肺の中に入れました。アレキサンダーさんは、現在も鉄の肺を使う数少ない患者の一人です。

10月、アレキサンダーさんは晴れて第5810地区ロータリーEクラブに入会。彼の自宅で開かれた入会式には、国際ロータリーのゲイリー C.K. ホアン会長もインターネットを通じて出席しました。現在、自身の経験に関する本を執筆中のアレキサンダーさんは、ロータリーの使節としてポリオ撲滅の重要性を広く伝えていきたいと考えています。

鉄の肺からの解放

10年間、アレキサンダーさんは自宅はおろか、鉄の肺からも出ることができませんでした。しかし、自力で肺に空気を送る呼吸法を自己習得し、生活は一変。以来、8時間までなら車いすを使って自由に移動できるようになりました。

「初めて外出した日は、本当に特別でした。それまでの生活とはまるで別世界でした」と振り返ります。

大学進学を決意したアレキサンダーさんは、テキサス大学キャンパス内に引っ越し、看護助手の力を借りて授業に出席。大学卒業後、さらに法律の学位と弁護士資格を取得して、民法と刑法を専門とする弁護士になりました。

パソコンのキーボードとプッシュホン式電話を頭の近くに置き、プラスチックの棒をくわえて巧みに操作します。訴訟の際は、助手の手を借りて裁判所にも出向きます。まれに遠距離の出張もあり、その場合は車輪つきの鉄の肺を出張先に配送します。

ロータリーとの出会い

アレキサンダーさんの父は、1960年代にダラスロータリークラブ会長を務めていたそうです。しかし、そのときの記憶はまったくなく、ダンカンビルロータリークラブ会員と出会ったときに初めて、ロータリーの活動について知りました。その後、アレキサンダーさんの存在について知ったロータリー第5810地区ガバナー、ビル・デンディさんは、妻が制作中のポリオ撲滅に関するビデオのために、アレキサンダーさんとのインタビューを手配し、地区のEクラブ会員から成る撮影クルーがアレキサンダーさんの自宅に赴きました。

撮影の1週間後、デンディさん自身がアレキサンダーさんの自宅を訪れ、ロータリー入会について話しました。『自分のような身で一体どうやって会員になれるのか』と尋ねるアレキサンダーさんに、インターネットで例会に出席できるEクラブなら入会も十分可能であると伝えました。

入会以来、アレキサンダーさんの元にはダラス付近のロータリークラブから講演依頼が殺到しています。既に2つの大きな行事で講演し、次回の地区大会でも講演する予定です。車いす用通路を設置する奉仕プロジェクトを実施しているワクサハチロータリークラブとも縁があり、病院や出張先に鉄の肺を輸送しなければならないアレキサンダーさんのために車いす用通路を設置もらいました。

「ロータリーの一員であることは、自分にとって非常に大きな意味がある」と語るアレキサンダーさん。「毎日が充実しており、毎晩、もっとできることはないかと考えを巡らせて、つい夜更かししてしまいます。知り合いも大勢できました。他人のために力を貸してくれる人が世の中にこんなに大勢いるなんて、想像もしませんでした」

記事：Arnold R. Grahl

次週例会 2月16日 通常例会 『世界理解月間』
三條RC 2005～06年度会長 小越 憲泰 様

次々週例会 2月23日 通常例会 『RI創立記念日』鈴木 武 パスト会長



一 陽(田中悌司君)
2011年新春作品
兼題 「のっぺ汁」
土 来(広岡豊樹君)
2010年新春作品
兼題 「白 菜」

三條南ロータリークラブ週報
2015. 2. 2
No.2146 No.23